

# JBIA 洋書輸入協会会報

Vol. 32 No. 5 (通巻372号) 1998年5月

## 理事会報告

4月27日(月)

1. 3月収支・総務委員長報告を了承した。
2. 総務委員会1997年度決算報告を承認、総会にて理事長より報告する。
3. 委員会報告
  - ・総会関係文書類の配付完了。(総務)
  - ・第一面記事の充実を図る。(会報)
  - ・1998年版刊行は5月連休明けになる。(ダイレクター)
4. 規約改正委員会報告
  - ・見直し作業をほぼ完了した。
  - ・今総会では中間報告を行う。
  - ・6月中に案文を作成する。
5. 今秋臨時総会を招集し、新規約について賛否を問う。
6. 共同物流アンケート
  - ・25社より回答を得た。
  - ・実行可能なプラン作成に入る。

## 海外ニュース

### 最新高速ネットワーク Net2 は出版社の参加を待っている

トップレベルの大学・ハイテク企業・連邦政府など120団体が共同開発した Internet2 は、最新高速のインターネット・ネットワークのためのインフラを2年以内

に構築するという野心的な計画だ。この新しいネットワークはその巨大なキャパシティにより、映画やヴァーチャル会議などの内容を(リアルタイムに、音声も画像もつけて)簡単にダウンロードすることができる。次世代のインターネットのインフラは、巨大な量のデータを24億bps(bit per second)のスピードで転送する能力や、百科事典30巻分に相当するデータを瞬時にしてダウンロードする能力を有することになる。

出版社にとってこれが何を意味するかと言うと(著作権保護などが予想されるが)、最近の商品(テキストブック、遠距離授業、双方向の通信が可能な授業など)で、この新しいネットワークで瞬間的に伝達できないものは皆無だということだ。これら新しいテクノロジーが新しい商品のみならず、商品を小売店や顧客に供給する新しい方法もまた開拓してゆくのに伴って、学術書、児童書、そして一般書の出版業界にも同様の事態が起ころうとしている。

しかしながら、IBM、3Com、Sun、そしてAppleがメンバーとして名を連ねている Internet2 の推進グループに出版社が参加していないと、Internet2 Applications Development の Mr. Ted Hans, Director は言う。彼によれば、出版社が参加することで「新しいインターネット・サービスを開発してゆく上で、出版社のニーズを理解することができる」とのことだ。彼はまた「これまでの形式の出版業務から抜け出そうと考えている出版社なら、この新しいネットワークの将来に影響をおよぼさずの話し合いに参加すべきだ」とも言う。

## 目次

|                        |     |                     |     |
|------------------------|-----|---------------------|-----|
| 理事会報告・海外ニュース           | 1・2 | パソコン外論考(其7)         | 5   |
| 文化厚生委員会だより・カレントトピックスほか | 2・3 | NHK 総合テレビの語学番組に参加して | 6・7 |
| 出版文化史追憶                | 4   | 広告                  | 8   |

巨大キャパシティのインフラ構築の成果としての、このネットワークを管理・運営しているのは、学界、政府、企業、そして非営利の分野の Internet2 メンバーで構成されたワーク・グループである。相当数の商業出版社や学術出版社が加われば、これら出版社だけのワーク・グループも容易に形成することができると Mr. Hans は言う。基本的なメンバー料金は年間一万ドルである。

インターネットがそうであったように、Internet2 が当初、学術目的で設立されたのは当然と思われる。しかしながら、Internet2 の欠くことのできない使命として、最先端のテクノロジーをできるだけ迅速にインターネッ

ト上で公開することが挙げられる。現在のインターネットのキャパシティ（ありとあらゆる種類の車で渋滞している 2 車線道路といったところ）に不満を感じている出版社にとって、Internet2 はあらゆる分野のユーザーを視野に入れた、文字通り複合的なスーパーハイウェイとして歓迎されるだろう。

興味のある出版社は Ms. Ann O'Beay, Director of Corporate Relations (TEL:800-786-5918) に連絡するか、Internet2 のウェブサイト (www.internet2.edu) を参照のこと。

PUBLISHERS WEEKLY/APRIL 27, 1998

## 文化厚生委員会だより

### フォーティ・ラブ四月合宿

四月のフォーティラブの合宿は満開の桜が散り始めた津久井湖畔のプチピラで 4 月 11 日行なわれ、前夜からの泊り込みを含めて 20 名が参加した。

橋本から車で山沿いの立派な道を登ると次第に視界が開け、道端の様の老木の間から眼下に津久井湖、その向うに集落が望まれる。春霞のなかに、桃源郷もカクノゴトシかという眺めである。平地に降りた車が湖の釣り橋を渡ると間もなくコートに到着。ここも桜の大木が回り一面花びらを敷きつめていて見事。コートからは白球を追い駆ける軽快? な足音と心地よい球音が響いてきた。今回は洋販チームが Featuring の観あり、貴重な新人女性金指さんと須永さんの 2 名が参加、今月ご定年なるも元気澁刺たる鈴木さん、それに遠路名古屋から駆けつけてきた平木さんという顔ぶれ。女性はロングマンから小島さん、丸善からレギュラーの室伏さんと常住さんの計 5 名、それ以外はフォーティならぬオーバー・フィフティを含めた男性陣。なかには前夜中央高速でアクロバットを演じたモサもいて、それにもめげず食欲にゲームに挑戦、隣のコートに目をやれば豪快なスマッシュやら年輪を感じさせるロブやら名人芸の魔球やらが快晴の下に行き交い、喚声が絶えない。

熱戦の後はヒンヤリ冷えたうどんに山菜のてんぷらで昼食。この食事はいつ来ても極めて丁寧で味が良い。どんな商売であれ、お客様に喜んで貰えるように精進しなければいけないと感じさせるものがある。そういえば、

このコートに来る手前に尾崎弔堂記念館というのがあって、弔堂の生家跡だという。この、のどかな山あいの村に生まれ、憲政の神様と贅えられた弔堂にして、今日の我が国の山河、政治と経済の混迷をどう思うか、生きていたら一度拝聴したい所だ、などとツマラヌことを考えているうちに午後の試合が再開。途中、山菜を摘みに行く人、隣の緑地をお花見しながらユックリ散策する人などもゲームに戻って夕方迄熱戦を繰りひろげた。それなりの戦いを終えた後は、当部専属の名手、東光堂の柴田カメラマンのレンズの前に一同揃って記念撮影。

夕食迄の間、暮れなずむ湖の向うの堂々たる新緑の山容と眼前の桜とが見事なコントラストを成して、春の朧ろの幻想的な眺めであった。夕食はお互いの健闘をねぎらってビールで乾杯、HAPPY RETIREMENT の鈴木さんからは全員にニューボールを一函づつ頂戴した。激動の時代、Transition Period の真っ只中であってそれぞれ苦労の絶えない日々であるが、商売をひとまず離れ、ひたすら白球のみを追う楽しい一日であった。

(TK記)

### ファックス番号が変わりました

会員名：太陽図書貿易株式会社

新番号：(03) 3953-7821

変更日：1998年 5月12日

\*お手元の記録をご訂正ください。

## 定時総会開催さる

1998年度 JBJA 定時総会が、去る5月15日(金)午後1時より東京・飯田橋のホテル・エドモントで正会員46社の出席を得て開催されました。今総会では役員改選が行われ、投票の結果以下の新役員が決まりました。(得票順)

理事：丸善、日本出版貿易、洋販、UPS、  
医学書院、ユサコ、雄松堂

監事：内外交易、三省堂

なお、新理事による互選の結果理事長に丸善社長・鈴木信夫氏が再任されました。詳細は会報6月号及び「定時総会報告」をお待ちください。

## カレント・トピックス

アメリカ経済は、一部でバブルではないかとの危惧を持たれながらも繁栄を続けている。世界各国からドルが集中しているアメリカを中心に国境を超えた M&A が進んでいる。自動車業界では、ダイムラー・ベンツとクライスラーの合併でトヨタを抜いて第3位の自動車メーカーになると報じられた。ロールス・ロイスも独フォルクスワーゲンに売却されるとか。日産ディーゼル株のダイムラーへの売却、金融関係会社の合併や業務提携など、M&A が正にたけなわである。

出版界では、昨年10月以来業界の注目を集めたのが Reed Elsevier と Walters Kluwer の合併計画で、実現すれば law/tax/medical の3分野市場の独占ともなる \$34 billion (€20 billion) 規模の巨大な出版社グループの誕生になる筈であった。同業等からの反対と独禁法に基づく European Commission の結論をみて、それぞれの株主優先の条件がかみ合わなかったこともあり、両社はこの計画を見送った。RE社は「両社にとってぜひ実現したい企画であったので解消は残念であるが、従来のビジネスには影響なく、経営的に何らダメージを与えることはない」とコメントしたが、このニュースを受けて株価は下落した (PW, March 16, 1998)。

その過程において去る2月、WKは Waverly, Inc. (Williams & Wilkins の親会社) の創始者である

Passano family およびその他の主要株主と吸収/合併の基本的合意に達した。Waverly は、1890年に設立され、英国、ドイツ、香港、タイおよび日本に拠点を持つ医学の総合出版社である。同2月、WKは Thomson Science の出版部門(ドイツを除く)を買収する契約を完了しており、これらはともに、医学分野における拡大を意図するWKの経営計画に相応しい acquisitions である (STM Newsletter 103)。WKは Waverly および Thomson Science の医学書をその medical 部門および Lippincott-Raven と統合して、Lippincott, Williams & Wilkins の新社名の元、司法省の認可を待って6月の正式発足を予定している。

また、Times Mirror は予てより売却検討下にあったその傘下の Matthew Bender と Mosby のうち、Matthew Bender について RE と基本契約に調印した (PW, May 4, 1998)。これは、規模的にみてスムーズに手続きが進むのではないかとされている。Mosby も Harcourt General に売却された (PW, May 11, 1998)。

遡れば、10数年まえ、acquisitions で巨大化した McGraw-Hill 株式の Amex による公開買収オファがその走りであったような気がする。当時の President and CED であった Harold McGraw, Jr. がこれに敢然と立ち向かい株主を繋ぎ止めることができた時代だった。そして今年になって、Bertelsmann (ドイツ) の Random House (米国) の買収に米国出版界が波立った。優秀な出版社、特に STM 出版社が、数社の巨大グループに統合されてしまいそうな状況で、正に激動の時代である。

＝ 以下次号 ＝  
(会報委員 荒木)

## お詫びと訂正

この度刊行しました1998年版 DIRECTORY で、海外出版貿易(株)のロゴを手違いにより(株)カイガイに付けてしまいました。両社にはたいへんご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますと共に、訂正させていただきます。

ダイレクター委員会

## ウェブスターの輸入と日本近代化〔5〕

丸善・本の図書館 鈴木陽二

## ◆洋書業者によるウェブスターの輸入(1)

ここで、洋書輸入業者によるウェブスター辞書の輸入の様子を、明治初期の丸善のケースで探ってみることにしたい。

丸善がいつごろからウェブスターの輸入を開始したのか、筆者は残念ながらその記録を見つけることができなかったが、しかし、『明治百年記念 洋書100年展目録』（丸善／昭和43年10月）にも「丸善での輸入は1869年創業当時からで、以来続いている」と記されているし、また稲村松雄先生も丸屋書店（丸善）の1869年の開業後はウェブスター系の辞書が容易に手に入るようになったと述べ、また先月紹介した札幌農学校のクラーク博士が24名の生徒に与えた「大きな辞書」は、日本国内で調達したものであろうと記している。丸善から購入したのかどうかは不明であるが、いずれにしても、この時代のウェブスター辞書の広範囲にわたる浸透の実情から考えると、丸善が創業当初からこの辞書を取り扱っていたことは十分に考えられる。

服部撫松は『東京新繁昌記』（明治7年発行）の「洋書肆」の章で当時の洋書店の様子を描いているが、特に丸善と明示しているわけではないものの、店内の豊富・多彩な商品群や、あるいは番頭・小僧の接客の様子からすると、勝手な推測ではあるが、丸善と考えて間違いのないのではないか。そこに、陳列されている書籍のひとつとして「正面には維波斯德利氏（イボストル＝ウェブスター）大字書ヲ安置シ」と記している。明治が始まったばかりのこの時代に、ウェブスターが洋書店の重要な商品として販売されていた様子が、臨場感のある筆で描写されている。この時代から現在に到るまで連綿として、ウェブスターは丸善にとって第一級の重点商品として取り扱われてきたが、ここでは、目録によってその初期の輸入の様子をかいま見ることにしたい。

丸善が洋書の目録の制作を開始したのがいつごろなのか不明であるが、明治7～8年ごろという記録もある。丸善は創業初期には横浜などに居留していた外国商社から洋書を仕入れていたのが、明治5年ごろに外国出版社から直接輸入を始めた。貿易統計を見ても、書籍・雑誌

の輸入は明治6年ごろに比較的高い数値を示しているのは、そういう丸善の営業動向とあるいは関係があったのではないか。ともあれ、直輸入によって取扱量が拡大したという背景のなかで、大雑把ではあるが、明治7年前後から本格的な目録の発行が始まったと見る事ができるだろう。

しかし、これら初期の目録は残存しておらず、今われわれが目にするのできるもっとも古い丸善の洋書目録は、明治9年に丸善が刊行した『フランス民法典（コード・ナポレオン）』という英訳版の末尾に収録された4ページの洋書リストである。しかし、このリストは社会科学や思想関係の洋書が中心に収録されており、残念ながらウェブスターは掲載されていない。次の現存している洋書目録は明治16年発行のもので、これには2点のウェブスター辞典が収録されている。1883年版『アメリカ英語大辞典』とロンドンのラウトレッジ社『英語大辞典』第11版（刊年はないが、この版は1869年刊行）であり、前者は16円ときわめて高価で後者は3円75銭と廉価である。それにしても、この目録にたった2点しか掲載されていないのは、官庁学校にいろいろな種類のウェブスターが揃っていた当時の実情を考えると不思議な気もするが、この号だけたまたま少なかったということなのだろう。そして、その2年後の明治18年の洋書目録には9点もリストされている。そこには、リップンゴット社出版の“Royal Octavo Dictionary”（4円25銭）、1884年改訂新版の“Unabridged Dictionary”（12円50銭／見出し付き13円50銭）、グッドリッチの編纂による『英語発音語義辞典』（2円）などが見られ、充実したラインナップになっている。

その後の現存している洋書目録でウェブスター辞書の収録点数だけあげると、明治21年に9点、明治23年に9点、明治26年に8点、明治33年に6点となっている。主要な版は、大字や図版入りで大きくスペースをとって広告しており、ウェブスター辞書が丸善にとって時代を越えて重要な商品であったことが理解できる。

〔参照図書：稲村松雄『青表紙の奇蹟—ウェブスター大辞典の誕生と歴史—』／『丸善百年史』上巻〕

## パソコン外論考 (其7)

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆何処だったか、何時かは思い出せないが・・・。

／Where or When

子曰、無欲速、無見子利、欲速、則不達、見子利、則大事不成、

The Master said, 'Do not be impatient. Do not see only petty gains. If you are impatient, you will not reach your goal. If you see only petty gains, the great tasks will not be accomplished.'

(論語／子路・Confucius; The Analects／Book XIII)

【超拙意訳；(子夏が政治の要諦を孔子に尋ねたところ) 先生は、「そりゃ君、これをやっちゃあ御仕舞いというのが二つ。まず、あせてキレること、そして少利に目が眩むこと。まあ、目先のことばかりに囚われていては、大事が行なえないのは当たり前だよ」と、言われた】

ここ1週間ほど鳴り物・囃子入りのOSを巡って、何やら喧しい声が聞えてきます。言ずもがな、いまやかの有名な (notorious という意味で) OS、すなわち Win95 の後継 (実態は versionup にすぎないと勝手に推論)、Windows98 (以降 Win98) のことです。

昨 (1997) 年12月。飛ぶ鳥も勝手に落ちる勢いのマイクロソフト (Microsoft Corps.=MS) 社は、不正販売行為の疑いで司法省に提訴され、販売禁止の「仮決定」を受けていた (本外論-其5／本年2月号参照)。現在は、この控訴審を待っている時機であった。が、Win98 の発売時期迫った5月上旬。New York 州など13 (何やら因縁めいた数) 州、および司法省などが「独占禁止法違反」でMS社を提訴しようとしています。

そこで、先手必勝とばかりMS社は、追隨大手企業26社を携えて司法省に対して「Win98の発売延期」になるやも知れぬ提訴をやめるように要望書を送り、かつ反撃キャンペーンをはっています。

MS社は、司法省や州政府に対しては、batting-helmet がけた「waste pitch」みたいな高姿勢な球を投げています。かと思うと、5日後には一転して我が愛する Bay-Stars 以外の日本のプロ野球チームと高校野球でしか見られないセコイ「two-strike bunt」=協議という低姿勢を取りはじめました。

この Win98 と internet の閲覧ソフト IE の「抱合せ販売」=bundling (この語句の響きは、筆者は好きです

が) に対して、司法省などが「独占禁止法違反」でMS社を提訴しました (5月18日現在)。成行きについては次号以降で……。

まあ、いずれにしても意地悪く「裏読み」をすれば、今度の Win98 そのものの人気は今イチ故、「発売景気」を煽るタメの仕掛けとっています。かつてのアイドル歌手が離婚に際して、ghostwriter 兼某出版社社長とつるんで打った Home Run 本 (いやこの本は Texas Leaguer ぐらいじゃないかという話も・・・)。筆者はこのタイトルを見たとき sugar daddy のことかいな? と思っただけですが ガキ用語のママでの使用法とか。? の二乗になりました) のようにいくかどうかは、消費者=user (決して敵は顧客 client とは思っていません。就中、日本市場においては) の消費行動にかかっています。

ということで、最近よく受ける相談に「この時点」でパソコンを買うべきや否やというのが多いのです。

今パソコンを買えば、OS は Win95 から Win98 に「無償」でアップグレードしますとか、先号でも取り上げました USB 対応だから Win98 になっても安心して使える、という宣伝に負けてはいけません。

簡単です。買わないことです。

理由は、複雑です。

① Win95 から98への upgrade の仕方が簡単と言っても実際はわからんこと、経験的に言うときほど簡単スムーズにはいかないだろうこと。だったら、Win98 が install されているものを買うこと。発売3か月後に!

②次世代OS対応なんて言うのは、要は当てにならないのです。特に「規格」においては! これも、発売3か月後、printer にしろ、de facto-standard が出現。

③最大の問題は、多分発売3か月後ぐらいにやっと第一次の bug-fixed された (改訂版) Win98 が出ます。

④あせる〇〇は、貰いが少ないという金言を実行のこと。

ということで、日本では Win98 発売が7月中旬。で、3か月後の10月半ば以降、パソコンを買うかどうか決定しても遅くはありません。以下次号。乞御期待。

【宇田川の諦念・推奨割切りコンピューター】

●フルスペックの Benz/S クラスがいいと思う方へ

★先号と同様。\*CPU: Pentium II/400MHz のものを。

★18~20万円程度。1か月で約1~2万円の price-down。

●車でいえば、Honda/Civic クラスでいいと思う方へ

★先号と変わらず。\*CPU: 互換CPU/200MHz以上のものを。

★price は10万円以下。これも1~2万円 down。

## NHK 総合テレビの 語学番組に参加して

島岡 丘

「～先生からうかがったのですが、会っていただけますでしょうか。」と、受話器で元気な声が響いた。聞くところによると日本人の英語の不得手な発音を取り上げ、私の年来主張している「近似カナ」がその解決になるかどうかを試す面白い番組をつくるということだった。実際には4月11日夕方7時半から8時45分までの75分間、NHK 総合テレビで放送されたのだった。所々赤面の至りのところがあったが、ディレクターと私の相手役のタレントさんがうまくリードしてくれたので、肩張らないで土曜のくつろぎの中で気楽にご覧になられたのではないかと思う。

この土曜特集の視聴率は、ほぼ5%は維持されてきたそうである。が、ちょっと面白そうなものだと8%ぐらいまでは上がるそうである。4月29日午前に再放送されたところをみると視聴率は比較的高かったらしい。

日本人の人口を1億としてその5%でも500万人が見るということはすごい影響力だとため息が出る。失敗しても自分の勉強になればいいのではと思ってテレビに出ることに決めた。

収録は放送の1ヶ月前に行われる。番組検討委員会と編集作業に時間がとられるためである。ロケがあるので、監督、出演者、カメラマン、諸道具の用意ということになると、最低、移動用の車は3台が必要である。また、朝9時半から収録開始という場合でも場所の設定、カメラ位置、撮影の角度などのためにそれより3、40分前から監督さんを中心に諸準備を行ない、待機することになる。よいロケの撮影ができるかどうかは監督の判断やそのときの運によるところが大きい。何しろ不特定多数の視聴者を対象とするわけであるから、不安材料が伴うが、またスリルもあるので、やり甲斐もあるのではないかと思ったが、特に監督は柔軟な思考と図太い神経が必要なようだ。

番組構成の第一のねらいは東京タワーに観光バスでやってくる外国人観光客にインタビューしてカタカナ英語でどれだけ通じるかを試すことであった。私の相手役のタレントさんはその場でいくつかのカナ発音を日本語式アクセントで言うように指示される。それらは

揚げ豆腐

あ、いかん、醤油

家内、尻をブー

言わない

紙屋

などだった。これらは、それぞれ、

I get off.

I can show you.

Can I help you ?

you and I

Come here.

の英語の文にあたる。

私の役割は、これらの英語がそれぞれに対応する日本語で、英語母語者に通じたとしたら、その理由はどこにあるかをわかりやすく説明するということだった。そこで以下のような説明を用意した。

I get off.

I ge- の部分が「揚げ」となるのはIの出だしの音、[a]が強くなる傾向があるので、[ai]の「ア」だけ残ったのである。そこで「揚げ」となる。

次にge-t offが「豆腐」となるのは、母音にはさまれたtがアメリカ英語では濁音になるから「ドウフ」のように聞こえる。また、「ドウフ」と「ドーフ」は日本語では区別がないので「揚げ豆腐」でI get off.の近似値が得られる。より正確に言えば、アメリカ英語では「アゲラフ」であるが、意味を持たせるために揚げ豆腐のほうがよく、また覚えやすい。

日本語話者にとって、ものを覚えるとき、5-7-5の音節で口調よく覚えるのがよいので、次のように言うことにした。

「英語のt 母音にはさまれ う行音」

こう覚えておくと、water, butter, get upなどにあるtの変化を説明できる。一言語内の音声現象は一つだけ遊離していることはないように思う。

I can show you.

I canを「あ、いかん」とする利点はcanを「キャン」と拗音化することを防ぐ意味があり、たとえば、canadaは「キャナダ」でなく、「ケアナダァ」のほうがより近いことを暗示していると考えられる。また、show youを「醤油」としたのは、たとえば、in an hourと結合するように、この2語を別々に発音するのではなく、あたかも1語のようにつなげて発音することを語っているのであろう。川柳でまとめると、  
「母音と母音、子音と母音は 結び合う」

となるが、実際の放送ではNGになってしまった。出だしのところが音声としてどうも良くなかったらしい。  
Can I help you ?

Can Iを「家内」としたのは子音のnと母音のIとが、自然に結合することを示したものである。また、help youではhelpの発音に注目したい。Iは母音の後にあるので、日本語の「ウ」又は「オ」に近く聞こえる。milkは「ミルク」よりは、「メウク」のほうが、実際の英語に近い。その意味では上のように表すのも役に立つ。

you and I

andの発音が弱くなると最後のdが消え、不定冠詞のanと同じ音になることが知られているが、and Iは子音と母音の結合で、「アナイ」のようになる。you andは「ユワ」のようになるから、つなげると「言わない」に近くなる。

Come here.

これは実際に実験するのを目撃した。外国からの観光客の集まる東京タワーで「紙屋」と言った場合、果たしてこちらに来るかどうかということを試すのである。

タレントさんがそのように言うと、はじめは少し躊躇したようだが、三々五々その声を聞いて集まってきた。やはり通じたのである。偶然ではあるが、この実験を行ったのは東京タワーで、その住所は「神谷町」であった。

番組では、なぜhが発音されないかの質問に答えることになった。私はhereのhよりも人称代名詞のhis, him, herのhの脱落を取り上げた。in his handはカナで表すと「イン ネイズ ヘアンド」のように発音し、タレントさんにまねしてもらったりした。

75分のテレビ番組だったが、私が実際に出演したのは8分間で、土曜の夕方という時間帯で一般の視聴者がテレビの番組に期待しているのは、十分な娯楽性であり、英語の音声規則を知るという学習的要素は最小にせざるを得ないということだった。

私が出演する以外のところでは、外来語をいっさい使わないでバスガイドが観光案内をすることができるかどうかの実験、ニューヨークと緯度を同じくする百石町の英語の特訓とその効果を試す親善使節の派遣、会場に集まった若い人たちの意見、語学番組担当者などのコメントなどから構成されていた。

司会は江川卓氏と目方アナウンサーがつとめた。江川

氏はバニラがなかなか通じない体験を話した。これは英語を通じさせる大事な手がかりは強勢ではないかということ为例証するものだった。私はこの2、3年間、月例発音講座を開いているが、少しの工夫と、舌先と唇の筋肉の強化練習でかなり英語に近い発音が可能であることを知った。

最近、コミュニケーション大合唱という感じで英語の先生方の間でもコミュニケーションに役立つ英語教育論が花盛りである。しかし、突き詰めて考えると、コミュニケーションに役立つのは相手に気楽に通じさせる発音であると思う。バニラを通じさせようと思ったら、発音記号に頼らなくても、〔ヴ ネィウ・ラァ〕のような島岡式カナ表記で100%通じさせることができる（太字は力を入れて言うところ）。

文字偏重の英語教育が大学受験体制と結びついてきたせい、今でも発音が苦手という人が日本に少なくない。clownとcrownの区別は、せめて近似値として、「クラウンヌ」と「クアウンヌ」とすれば明らかに区別できるのにlとrは区別できないとあきらめている人も多いようだ。

幸いにして、英語発音表記学会(EPTA)が3年前に発足し、発音の苦手意識を持つ多くの人たちに自信を与えつつあることは喜ばしい。昨年Jones発音辞典の編集者のPeter Roach教授をレディング大学からお迎えして11回の講演シリーズを開き、述べ500人が直接講演を聴いたし、今年は7月25日から8月3日までGimsonの著書の改訂とIntonationをCUPから発行した、Alan Cruttenden教授をマンチェスター大学からお招きし、6回講演シリーズを行うことになっている。洋書輸入協会の方々をはじめ、音声面の研究と指導の重要性を感じておられる方々から、多くのご寄付を仰ぐことができ、今年も有意義な夏の研修会になると思う。

NHK土曜特集は「日本語から誰でも出せる英語音」の川柳で最後をしめくくった。近々洋販出版より『川柳式英語の発音プロフェッショナル』(仮)を出版の予定である。

参考文献

島岡丘(1995)『島岡メソッド カタカナ活用

わかる通じる英会話』創拓社。

〃(1997)『カナ活用英語のリズムとレダクション』

洋販出版。

(茨城キリスト教大学)

BBC EDUCATION & TRAINING

# BBC VIDEO LIBRARY

最新刊

## ピープルズ・センチュリー

全26話堂々の完結

オリジナル全長版(英語音声)ビデオ全26巻

シリーズ特別価格¥900,000で好評発売中

NHKオンエア「市民の二十世紀」のオリジナル全長版(英語音声)です。

テーマ音楽:作曲ズビグニエフ・プライスナー、演奏ワルシャワ交響楽団/ナレーター:ショーン・バレット、ヴェロニカ・ハイクス/監修:ジョン・ロバーツ、ウィリアム・マックニール(ジョン・ロバーツ博士は、ヨーロッパ近・現代史研究の世界的な権威で、多くの著書のほかBBCのために「西欧文明の功罪/TRIUMPH OF THE WEST(1985)」制作に加わるほか、1988年から監査役として重責を担うなど広くその功績を認められた歴史学の重鎮です。)

いずれも分売可

各巻 ¥38,000(税別)

### ■各巻タイトル

1. 希望の時代
2. 戦場
3. 赤旗
4. 失われた平和
5. スポーツ熱
6. オン・ザ・ライン
7. 大脱走
8. パンの列
9. マスター・レース
10. 総力戦
11. 素晴らしい新世界
12. にわか景気
13. 今こそ自由を



14. 原爆投下
15. アジアの台頭
16. アパルトヘイト 南アフリカの苦悩
17. 絶滅の危機に瀕した惑星
18. テレビの力
19. 延びる寿命
20. 大飛躍
21. 新世代
22. 女性進出
23. ゲリラと民衆
24. 神の抵抗
25. 民衆の力
26. バック・トゥ・ザ・フューチャー

**CDI**

BBC(英国放送協会)ワールドワイド社 日本総代理店  
 株式会社 キャリア・デベロプメント・インタナショナル  
 グローバルメディアグループ  
 東京都港区三田3-13-16 三田43 森ビル7F 〒108-0073  
 TEL. (03)5445-2959 FAX. (03)5445-2937

**SONY**  
Group

1998年5月 通巻第372号 洋書輸入協会 編集者 高橋 紘

☎103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室 ☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所=藤本総合印刷株式会社